

## 第545回番組審議会報告

開催日 : 令和8年3月24日(火)  
場所 : 山形グランドホテル  
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/相馬佳苗 副委員長/中川愛美 委員/齋藤義紀 委員/  
岡崎彌門 委員  
レポート参加 : 中村出 委員/佐藤善哉 委員/黒川和久 委員

議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率関連 後藤 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長
2. 報道・制作関連 黒須 取締役メディア情報局長
3. 番組合評

◇ほっとネットとうほく 「立ち上がれ！我ら羽州ぼろ鳶組」

令和8年2月21日(土)

午後2時00分～2時55分放送

担当 : メディア情報局メディア情報センター

コンテンツ担当 阿部 真子

◎その他

内容 : 2025年、開府400年を迎える山形県新庄市。開府記念プロジェクトとして地元小中高生のダンスチーム「羽州ぼろ鳶組」が結成された。チームを手掛けるのは直木賞作家・今村翔吾氏。プロジェクトでは、新庄火消の世界観を総勢70人の子どもたちがダンスで表現。毎月行われた練習や、札幌・仙台で行われたYOSAKOIコンテストへの挑戦を通して新庄の子どもたちの変化を追い、町をあげたプロジェクトの1年間の歩みに密着した。

委員からは、

「対象者の心の内に迫った取材力はもちろん、編集・構成力の高さも感じられた。」

「このプロジェクトに関わった子どもたちが、新庄という町にどのような好影響を与えていくのか非常に楽しみ」

「1年4カ月追いかけて、子どもたちがダンスも心も成長していく様子を感じ取れる良い番組だった」

「現代の教育への提言のような番組になっていると感じた」

「出演者が泣いたり笑ったり怒ったり感情がむき出しのドキュメンタリーで、感情移入できた」

「本番のダンスをきちんと見たかった」

「新庄というまちの歴史と、ダンスプロジェクトの関連の説明がもう少しあったほうが意義深い番組になったと思う」

「テロップで登場人物の紹介、役割、氏名が出てきていたが、登場人物が多くてわかりにくかった」

「今村さんが連れてきた人と、新庄の人たちの人員の内訳が知りたかった」

などの意見が出されました。

以上